

# 寅さん歩 その11

## 江戸・東京の祭-57

(新しい祭-15)

平野 武宏

[港区ワールドフェスティバル 2017]

～大使館周遊スタンプラリー その2～



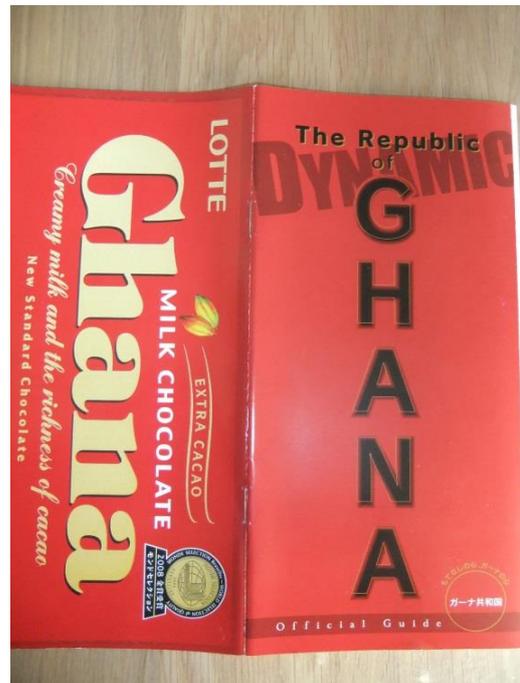
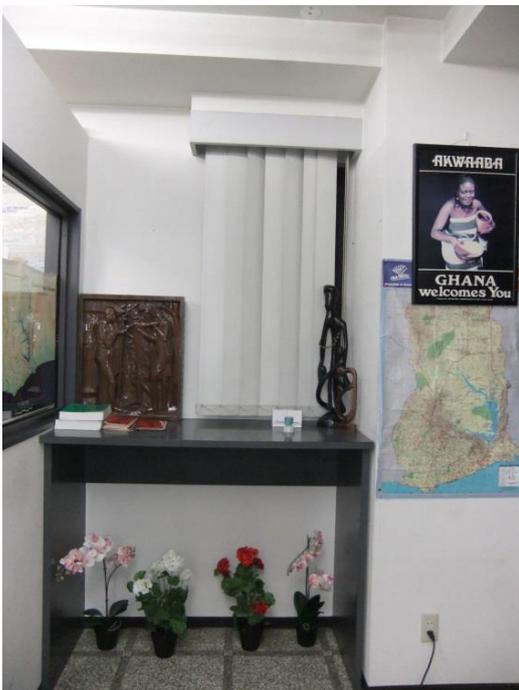
多くの外国人が住み、約 80 の大使館が立地する国際色豊かな街 港区主催の大使館周遊スタンプラリーに 3 年連続の参加です。港区役所で参加パスポート(表題右の写真)を入手しました。平成 29 年(2017 年)1 月 13 日～3 月 20 日に参加 35 ヶ国の大使館を選んで訪問、普段は立ち入れない大使館内に入ることが出来ます。今回はその 2 です。

2015 年・2016 年に訪問していない大使館を中心にスケジュールを考えました。訪問は事前予約の要・不要、人数定員の有・無、日時指定、曜日指定、訪問可能の日の回数も大使館によりさまざま、廻るエリアも考慮した効率良いスケジュールのコースづくりは頭の体操になります。事前予約は 1 月 6 日から始まっていたそうで、訪問日が 1 回しかない大使館は 1 月 13 日の時点で定員満員、予約は訪問日の 3 週間前ですが、10 時の受付開始で電話が殺到し、なかなか通じず、苦労しました。大使館に到着したら、受付に設置のスタンプをパスポートに押します。獲得スタンプ数によって 3 月 26 日開催の港区ワールドフェスティバルで抽選が出来る仕組みです。最寄り駅は代表例です。

# [ガーナ共和国大使館]

西麻布 1-5-21 最寄駅 大江戸線 六本木駅

六本木六丁目交差点を青山墓地方面に行き、トンネル前を左折すると国旗の立つビルがあります。



写真上左は写真が許可された受付周辺、右は大使館の「オフィシャルガイド」です。

アフリカ大陸の西部に位置し、南側は南太平洋に、西はコートジボワール、東はトーゴ、北はブルキナファソの3カ国に接しています。中世から金の輸出が盛んで、現在もアフリカ第2の産出国です。ダイヤモンド、ボーキサイトなどの鉱物資源にも恵まれています。肥沃な土地と熱帯気候を利用したチョコレートの原料になるカカオは世界1、2位の生産量を誇り、その品質には定評があります。日本のチョコレートメーカーの商品名にもなっていますね。大使館のガイドの裏表紙もチョコレートのデザインでした（写真上右）

1957年イギリス植民地から独立、かつて西アフリカで繁栄をした「ガーナ帝国」の名を国名にしたとのこと。金にちなんだ「ゴールドコースト」や「奴隷貿易」などの歴史が残されています。

## [ドミニカ共和国大使館]

西麻布 4-12-24 第38興和ビルディング 904号室  
最寄駅 大江戸線 六本木駅

その1でも紹介した西麻布の12ヶ国の大使館が入る大使館ビルです。



オフィスは9階にありますが、受付入口ドア（写真下）には「8階のラテンアメリカサロンに集合ください」の張り紙がありました。激戦の予約をゲットした20名はサロンの円卓テーブルに座り、大使館の方から約1時間の説明を受けました。



ミネラルウォーターのサービスがありました。思わぬ出会いもありました。隣に座った若い女性が説明を盛んにメモしていました。声をかけてみると、東京に単身赴任の父親の所に春休みに母親と四国から出てきた女子大生で大使館めぐりは今日が初めてと言うので、少しおせっかいかと思いましたが、女性には親切で優しい寅次郎、近くで行ける大使館の場所や大使館めぐり3年間の体験を教えました。

FWAのホームページも紹介しましたので、新しい愛読者になってくれると思います。東京に春一番が吹いた日の出会いでした。

大使館の方のスペイン語の説明（通訳付き）によると、西インド諸島の大アンティル諸島イスパニョーラ島の東部に位置し、ハイチと国境を接しています。東にプエルトリコ、西にキューバ、ジャマイカで、ヨーロッパ人が恒久的に定住した土地で植民地時代はサント・ドミンゴと呼ばれたとのこと。1844年ハイチから独立、1865年スペインから最終的に独立し、現在の名称に定まったとのこと。金・銀・銅・ニッケルなどの鉱物資源に恵まれ、コーヒー、カカオ、バナナ・アボガドの果物が美味しいと自慢していました。観光にも力を入れているとのこと。アメリカ大リーグや日本のプロ野球に多くのドミニカ出身の選手がいることを知りました、

## 〔コスタリカ共和国大使館〕

西麻布 4-12-24 第38 興和ビルディング 901号室  
最寄駅 大江戸線 六本木駅

ドミニカ共和国と同じ西麻布の大使館ビル9階に入居しています。

中央アメリカ南部に位置し、北にニカラグア、南東にパナマと国境を接し、南は太平洋、北はカリブ海に面している。コスタリカとはスペイン語で「豊かな海岸=Rica Costa」で、コロンブスがこの地に上陸した時に金細工の装飾品を身に付けていた住民に遭遇、この名前が付いたとのこと。



1826年スペインから独立、1949年には常備軍を持たない憲法改正（非常時には徴兵を規定）を行っているとのこと。ラテンアメリカで最も長い民主主義の伝統を持つ国で中米の楽園と言われました。その後、治安悪化の時期がありましたが、現在は安全とのこと。

## [アフガニスタン・イスラム共和国大使館]

麻布台 2-2-1 最寄駅 大江戸線 赤羽橋駅

昨年、訪れた大使館ですが、今年は説明会のある日の事前予約が取れ訪問しました。狸穴のロシア大使館脇の道を入るとあります。



写真上の正面玄関から入ると民芸品や資料が置いてあります、左手のホールには丸テーブルがあり、卓上には椿の花とアーモンド、干しぶドウ、クルミ、ビスタティオが置かれています。もう一つの皿は殻入れです。大使館員の日本語による説明が始まると、お茶とアフガニスタンクッキーが運ばれてきました。お茶は緑茶にスパイス（カルダモン）を入れたものとのこと。参加者 23 名は男性 6 名（内 2 名は子供）女性 17 名でした。大使館めぐりは女性に人気があるとわかります。



約 1 時間の説明で、アフガニスタンの平均年齢は 18.1 才（2015 年）、46% は 15 歳未満、雪も多く、日本のぶどうはアフガニスタンから来たと知りました。説明の後は館内の案内と至れり尽くせりのおもてなしでした。写真下左は来客との食事の部屋、右は屋上で目の前が東京タワーです。



## 【こぼれ話】 港区ワールドカーニバル

芝公園 4-2-8 東京タワー 最寄駅 三田線 御成門駅

港区大使館めぐりスタンプラリーは3月20日で終了しましたが、港区ワールドフェスティバルの締めくくりに3月26日、港区ワールドカーニバルが開催されました。今年の会場は東京タワー下広場です。



ウズベキスタン ダンス

あいにくの雨模様でしたが、各国の文化紹介ブースや飲食ブースが並び、国際交流を広めていました。大使館を訪問して集めたスタンプの個数による抽選会も行われ、寅次郎、3回ガラガラを回して、ブラジル外務省発行の本（Texts of Brazil 庶民の祭 日本語訳 163頁）と化粧用綿棒（東京タワー印）30本入りを2個ゲット（写真下右）



今年も楽しい大使館めぐりでした。今までの大使館めぐりは次を参照ください。

2015 年の大使館めぐり

寅さん歩 その 11 江戸・東京の祭-15 (新しい祭-2)

2016 年の大使館めぐり

寅さん歩 その 11 江戸・東京の祭-39 (新しい祭-5)

江戸・東京の祭-40 (新しい祭-6)

江戸・東京の祭-42 (新しい祭-7)

江戸・東京の祭-44 (新しい祭-9)

2017 年の大使館めぐり

寅さん歩 その 11 江戸・東京の祭-53 (新しい祭-11)

次回は 東京に こんなところ-14 です。

平野 寅次郎 拝